市報 にいがた

昭和44年7月15日発行

スポーツ特集号

毎月3回5・15・25日発行（昭和30年9月20日 第三種郵便物認可）
定価 1部3円

発行所 新潟市役所
新潟市西堀通り6番町866
電話 代表 (23) 1000
編集人 中島 正二
印刷所 （株）文明堂印刷所

（A）

スポーツ教室と大会

市民の皆さん多数参加を

スポーツと音楽直営都市をさらに推進しようと，市教育委員会ではこの夏から冬にかけて，次のような種目の教室や大会を行なうことになっています。どうぞ市民の皆さん多数の参加をお願いします。

スポーツ教室

①フォークダンス教室
②軟式テニス教室
③サッカー教室
④バレーボール教室
⑤卓球教室
⑥民踊教室
⑦およげない子の水泳教室
⑧バドミントン教室
⑨市民スキー教室 浦佐、苗場、五日町、赤倉
⑩市民マラソン大会

市民体会

①少年野球大会
②市民水泳大会
③少女ポートボール大会
④ラジオ体操大会
⑤市民体育祭
⑥市民スキー大会
⑦軟式庭球大会
⑧卓球大会
⑨バドミントン大会

野外活動

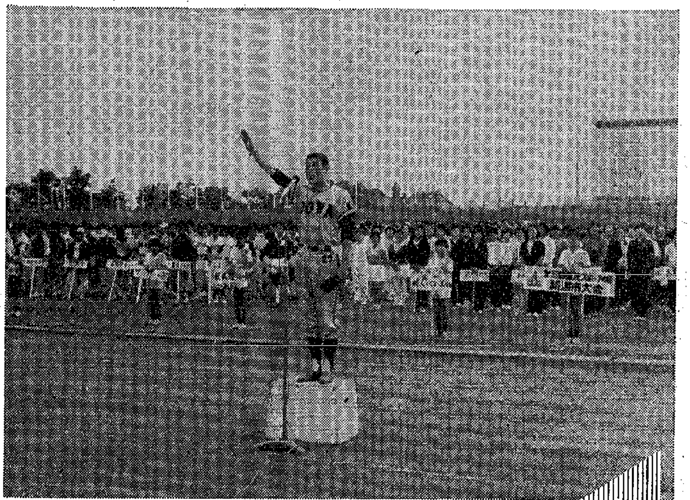
①秋の市民ハイキング
②秋の市民サイクリング

競技力向上教室

①剣道
②陸上
③体操
④レスリング
⑤軟式庭球

学校体育

①中学校総合体育大会
②中学校サッカー大会
③クロスカントリー大会
④中体連市地区県大会
⑤小学校体育祭
⑥スポーツテスト
⑦陸上記録会
⑧水泳記録会
⑨水泳教室



市民スポーツ大会の合同開会式で選手宣誓する早起き野球同和建業チームの小町主将（6月1日陸上競技場）

全国一のマンモス早起き野球

健康で明るい町造りに一役

全国でも珍しいと言われるマンモス野球、新潟市の早起き野球大会、四回目のことしは三千人の市民が参加して行なわれました。スポーツ都市にふさわしい市民総ぐるみのこの大会は、健康で明るい町づくりの意気を見せたものと言えましょう。来年はもっと参加チームもふえることでしょうし、スポーツへの熱意は一層高まることでしょう。

地震の傷跡からようやく立ち直った去る四十一年、〝野球をやりたいなあ!!〟という市民の声がしてきました。

新潟国体で見せたあのスポーツ熱は、もっぱら復興に向けられ、それこそ、スポーツどころではなかったのです。しかし、市民のスポーツ熱は決して失なわれていなかったのでした。

市民のこの願いに報いなければと検討した結果、〝早起き野球〟の誕生となったわけです。球場・審判員などむずかしい問題もありましたが、なんとか幕あげまでこぎつけたところ、六十チームの参加がありました。

さわやかな朝風は健康をはこんできます。友人同士でつくったチーム、あるいは職場チーム、応援する女性軍などで、球場も健康ムードが満ちあふれていました。

第二回目、四十二年には八十チームが参加し、野球熱はますます高まってきました。公式審判員による正しいマナー、技術を身につけてゆきます。職場チームは〝和〟が出てきます。

ある会社の社長さんは毎朝、先頭に立って応援していましたが、「若い人たちの勤労意欲にもつながる」と大喜びでした。

散歩の市民も声援送る

そして四回目を迎えたことしは六月一日の開会式から七月四日の閉会まで一カ月余にわたり、百五十チームとかってないマンモス大会になったのです。

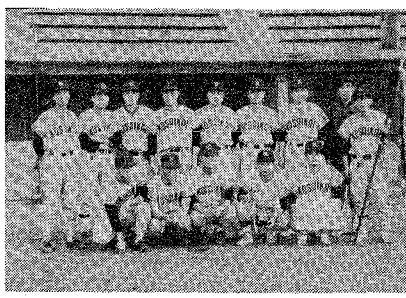
市内八会場で、遅刻は許さない、マナーを欠いてはいけないなど厳しい規則のもとで熱戦が続けられました。

早朝、散歩する市民、魚釣り帰りの人たちが集まってきて、やんやの声援を送ります。まさに市民総ぐるみのスポーツにまで成長したのです。

明るい町づくりは市民の一人一人の健康から生まれます。この早起き野球は新潟の名物であり、また新潟市発展の巨大なエネルギーと言えましょう。

初出場で優勝

鉄道弘済会経理部チーム



優勝旗を手に喜びのナイン

百五十チームも参加して行なわれた、第四回早起き野球大会が終わりました。優勝した鉄道弘済会経理部の横顔を紹介してみたいと思います。

チームを結成したのがことしの五月。まだ誕生ホヤホヤのチームです。部員は監督の鷲尾正尊会計課長以下十五人います。

キャプテンの田中代作さんは「まさか優勝しようとは思いもよりませんでした。それも経理部はいそがしく、仕事の都合や出張で全員が揃うことがありません。とにかく苦しい試合の連続でした。私のチームには年輩の人もかなりいますが、若い者がこの人たちを引っぱり出して試合をしています。試合の前日から全員で会社の寮に泊り込んでいますが、このためチームワークもよく、これが優勝につながったものだと思います」と語っていました。

元気なスポーツ少年団

どんどん伸びる体力

→剣道少年団

体操少年団↓

スポーツ人口を拡大するためには、小学生のとき興味を持たせることが最適だと、市体育課では昨年からスポーツ少年団を結成し、小学校五年生を対象にサッカー、バスケットボール、体操、剣道の四種目を行なっています。

最初は引っ込みがちだった児童も、いまでは練習も楽しく元気で飛びまわっています。この指導には市内の体育協会の皆さんが協力しています。

スポーツ礼讃

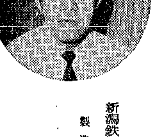
日立ビルデングサービス
新潟出張所長
吉野 実

私の会社でチームを結成したのがことしですが、まず参加することに意義があると、早起き野球大会に申し込みました。

しかし、残念ながら一回戦で敗退しましたが、練習するためにグランドを確保しなければならず、朝早く起きることになります。このため夜もあまり遊ばないことにもなり、これも一つの効果だろうと思います。

また、スポーツをやることによって人間的に明るくなり、仕事面でも大きなプラスになっています。

とにかくスポーツはいいものだと礼讃しています。



新潟鉄綱株式会社
製造部長
八木 敦

最近の中小企業では、若い人を定着させるためにも、スポーツ面に一生懸命力を注いでいます。

私の会社も以前から社内の各部対抗試合や、取り引き先と試合をやったりして盛んですが、特に若い人たちは、昼休みの時間にも広場を見つけてキャッチボールをやるなどしています。

仕事でもスポーツでも、一番大切なことは、チームワークだと思います。一人でも協力しなければ統制がとれず、いい効果を上げることができません。

この点を考えると協調性とファイトを養うスポーツは、まったくいいものだと思います。